



2018年  
平成30年  
1月号  
No.401

The Newsletter of the Town of Taiji



## 日の出

目 次	
新年挨拶	2
特集	4
トピックス	5
住民福祉課便り	6
くじらの博物館便り	8
お知らせ	10
保健衛生関係行事予定	12



# 新年あけまして おめでとうございます

太地町長 三 軒 一 高

新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、森浦地区に「道の駅たいじ」がオープンしました。地域観光の拠点となるこの施設は、町の歴史や文化、観光施設に関する情報を発信する一方、くじら料理など地元の食を堪能でき、更には「日本一きれいなトイレ」をコンセプトに清潔なトイレを備えるなど、多くの人々が快適に過ごすことができる道の駅として来訪者に人気を博しています。今後も地域内外からたくさんの方が訪れ、交流できる場となることに期待しております。

本年4月には、平見台園地において「太地こども園」が新たな園舎での供用を予定しております。園舎は、昨年7月より工事を開始、高台にあるため、災害時に津波の心配もなく、保護者の皆さまが安心してお子さまを預けることができ、また、子供たちは、たくさん陽のあたる自然環境豊かな園舎で楽しいことに出会いながら、安全に安心して園生活を過ごしていけると考えております。新たな取り組みといたしましては、0歳児保育も予定しており、子育て世帯の皆さまの仕事と子育ての両立を支援できるよう体制を整えていきます。

次に柳（なぎ）についてご報告いたします。災害時の福祉避難施設として、また、現在、施設の一部を太地町社会福祉協議会のデイサービスなどが利用しておりますが、平成30年度に「福祉の殿堂」とするべく大規模改修を計画しております。この改修により、高齢者や住民の皆さまが食堂や入浴施設などを利用できる予定です。「柳に行けば楽しく元気になれる」を目標に気軽に利用しやすい施設となるよう整備していきます。

このように町づくりを着実に進められますのは、町議会議員の皆さまや住民の皆さまのご理解とご協力の賜物であり、衷心より厚くお礼申し上げます。

本年も「くじらの恵みを全町民に」を掲げ、全力で取り組んでまいり所存です。結びになりましたが、皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



# 新年あけまして おめでとうございます

太地町議会議長 山本 真一郎

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新春をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は町議会議員の改選があり、現職9名と新人1名が選出されました。そうした中で昨年8月の臨時議会において議長に推薦していただきました。議長として力不足であろうと思いますが、円滑な議会運営ができるように、努めてまいります。

また、台風21号の記録的な大雨で、一部地域において水害にみまわれた方々にお見舞い申し上げますとともに、執行部に対して排水路の改善を提案していきたいと思っています。

さて、全国的な問題であります少子高齢化につきましては、高齢化率（人口の中に65歳以上の占める割合）が全国平均約28%ではありますが、我が太地町におきましては約41%になっています。また、人口においては昭和53年の約4,800人を最多にして平成28年に約3,200人まで減少してきています。

こうした現状の中で、太地町という行政区域を残し、事務効率化を図るために、消防、救急医療、観光振興など一部事務組合、広域連合化が必要となってきているのではないのでしょうか。太地町議会も東牟婁郡の他の町村議会や新宮市議会とともに、相互理解と相互協力をしながら少子高齢化に対応していく必要があるのではないかと考えています。

どうぞ、本年も太地町議会に対し、皆様のご理解とご協力を賜りますことを節にお願いして、新年の挨拶に代えさせていただきます。

# 広報たいじで振り返る2017年



消防出初式



防災もちつき大会



春季全国火災予防運動



小学校入学式



中学校入学式



鯨供養祭



ツール・ド・熊野



くじらに出会える海水浴場



道の駅「たいじ」開駅式



成人式



太地大運動会



第32回太地浦くじら祭



## 11/9(木) 秋季全国火災予防運動

11月9日(木)～15日(水)の秋季全国火災予防運動に合わせて、幼年消防クラブによるパレードが行われました。

楽器や纏等を持った子ども達は、太地町公民館から太地漁港ふれあい広場までを練り歩き、火災予防を呼びかけました。

パレード後は、ふれあい広場に設置された舞台上、子ども達の合奏やダンスが披露され、その一生懸命な様子と愛らしい姿に、観客の皆さんからは、拍手が送られていました。

## 11/17(金) こども園火災避難訓練

太地こども園において、火災避難訓練が行われました。

訓練は、同園で火災が起きた想定で行われ、先生方の指導の下、子ども達は、運動場へ避難しました。運動場では、消火器の使い方を学んだ後、放水を体験しました。

訓練後、子ども達は、消防車への乗車や記念撮影を楽しみました。

本物の消防車に、子ども達は興奮した様子でした。



## 11/22(水) 人権啓発講演会

太地町公民館において、落語家の桂福点氏をお招きし、人権啓発講演会を開催しました。

同氏は、全盲の落語家として活動されています。今回は、『「大笑いゼーションでノーマライゼーション」～ともに生きる～』という演題で、どのようにして、障がいを持っている人と障がいを持っていない人が、支え合いながら生きていけるかについて講演していただきました。その後は、創作落語を演じていただき、盛況のうちに会は終了しました。





# 住民福祉課だより

## 風しんワクチン接種費用助成に関するお知らせ

最近の風しんの全国的な流行を受けて、妊婦とその子どもを風しんから守るため、和歌山県風しんワクチン接種緊急助成事業を活用し、風しんワクチンの接種費用を助成します。該当する方は、役場住民福祉課までお申し出ください。

### 対象者

- ① 19歳以上50歳未満の妊娠を希望している方（昭和42年4月2日から平成11年4月1日生まれの方）
  - ② 妊娠している女性の配偶者及び婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方  
※妊娠している方は接種できません。接種してから2ヶ月は避妊しましょう。
- ◆対象ワクチン：麻しん風しん混合（MR）ワクチンまたは風しん単抗原ワクチン

### 接種期間及び申請期間

- ・接種期間：平成29年4月1日から平成30年3月31日までに接種したもの
- ・申請期限：平成30年3月31日まで

### 助成内容

- ・助成額：10,000円（上限額）
- ・助成回数：1回（いずれかのワクチンにつき1回限り）

### 申請に必要な物

- ① 風しんワクチン接種を受けたことを示す医療機関が発行した領収書（原本）
- ② 助成金の振込口座を確認できる書類
- ③ 印鑑
- ④ 妊婦の配偶者の場合、母子健康手帳等妊婦の配偶者であることがわかる書類

※この風しんワクチン接種は、任意の予防接種のため、健康被害が生じた時は「独立行政法人医薬品機器総合機構」に基づく救済措置の対象となります。

### 風しんの 基本知識

どんな病気？・・・風しん患者のせきやくしゃみに含まれる風しんウイルスの感染によっておこる病気です。潜伏期間は、2～3週間で、発熱・発疹・リンパ節腫張が3大症状です。

風しんは流行しているの？・・・平成24年、25年に近畿地方や関東地方、沖縄などで流行し、20代から40代の男性を中心に患者数が増加しました。

先天性風しん症候群とは？・・・抗体を持たない妊婦（特に妊娠初期）が風しんにかかると赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障などの障がいが起こる可能性があります。

お問い合わせ先：太地町役場住民福祉課（TEL 0735-59-2335）まで

## 検診（健診）はお済みになりましたか？

今年度の医療機関での検診（個別検診）は平成 30 年 1 月 31 日までになっています。

○検診の予約：太地町役場住民福祉課に申込後、希望する医療機関にご予約ください。

○受診券を発行しますので、医療機関受診時は必ず受診券をご持参ください。

検診の種類	対象者	実施医療機関
特定健診	※ 1	坂野医院
肝炎ウイルス検診	※ 2	
前立腺がん検診	40 歳以上の男性	
胃がん（胃内視鏡検査）	50 歳以上で奇数月生まれの方	
子宮がん検診	20 歳以上の女性	いずみウイメンズクリニック（新宮市） 産婦人科矢島医院（新宮市） 新宮市立医療センター（新宮市）
乳がん検診	40 歳以上の女性	新宮市立医療センター（新宮市） けんゆうクリニック（串本町）

※ 1、◇ 40～74 歳で太地町国民健康保険加入者 ◇ 40 歳以上の生活保護受給者

◇ 75 歳になられる方

※ 2、40 歳以上で過去に肝炎ウイルス検査を受検した事がない方

今年度受診されていない方で、受診を希望される方はお早めにお申込みください。

## 乳幼児健康相談について

毎月 1 回、太地町多目的センターにおいて未就園児とその保護者を対象に、午前 10 時から午前 11 時 30 分まで保健師、栄養士による身体計測、離乳食相談等を実施しています。「予防接種の受け方がわからない」「離乳食の作り方がわからない」「初めての育児で何もかも不安」など、1 人で悩まずに気軽にご相談ください。また、同世代の保護者とも知り合う場にもなりますので、みなさまお誘いあわせの上ご参加ください。





## 橋浦泰雄の勝浦湾風景画

A Landscape Painting by Yasuo Hashiura

勝浦湾の風景を描いた日本画が、このほど太地町に寄贈された。題名や日付は記されていない。勝浦港から南向きに見た景色で、湾の向こうに太地が見える。作者は橋浦泰雄氏である。くじらの博物館の開館一ヶ月前に刊行された『熊野太地浦捕鯨史』（平凡社）の編集責任者を務めた人物で、「柳田国男の一番弟子」ともいわれる民俗学者であった。

橋浦氏は昭和13年（1938）からたびたび紀南を訪れて、民俗調査の合間に日本画を制作していた。太地水産共同組合の依頼で昭和28年（1952）に描いた「生産愛郷之図」という題の絵は、現在公民館に保管されている。このたび町に寄贈された絵は、もとは勝浦の湊正一氏が橋浦氏から贈られたものである。橋浦氏は湊家に何度も泊まりに来ていたという。

橋浦氏と湊氏の間を結んだのは澤村経夫氏である。

澤村氏は、湊氏のご子息の結婚式で媒酌人を務めるほど両氏は親しい間柄にあった。澤村氏は特殊ハンダ接合技術を開発した企業の社長として東京で活躍したが、太地出身のご尊父、滝川貞蔵氏とならんで熊野地方の歴史民俗研究者としても知られている。澤村氏が著した『熊野談義』（文藝春秋）によると、橋浦氏を捕鯨史編集者として庄司五郎町長に推薦したのは滝川氏であり、澤村氏も東京で資料を収集して太地へ送るなどして『熊野太地浦捕鯨史』の編集を支えた。

橋浦氏は澤村氏を介して湊氏と知り合い、勝浦湾の風景画を描いて湊氏に贈った。その絵を太地町に寄贈して下さった湊大作氏によると、ご尊父の正一氏は、故郷を思い出すことができるというこの絵を大切に、亡くなるまで自分の部屋に飾っていたという。

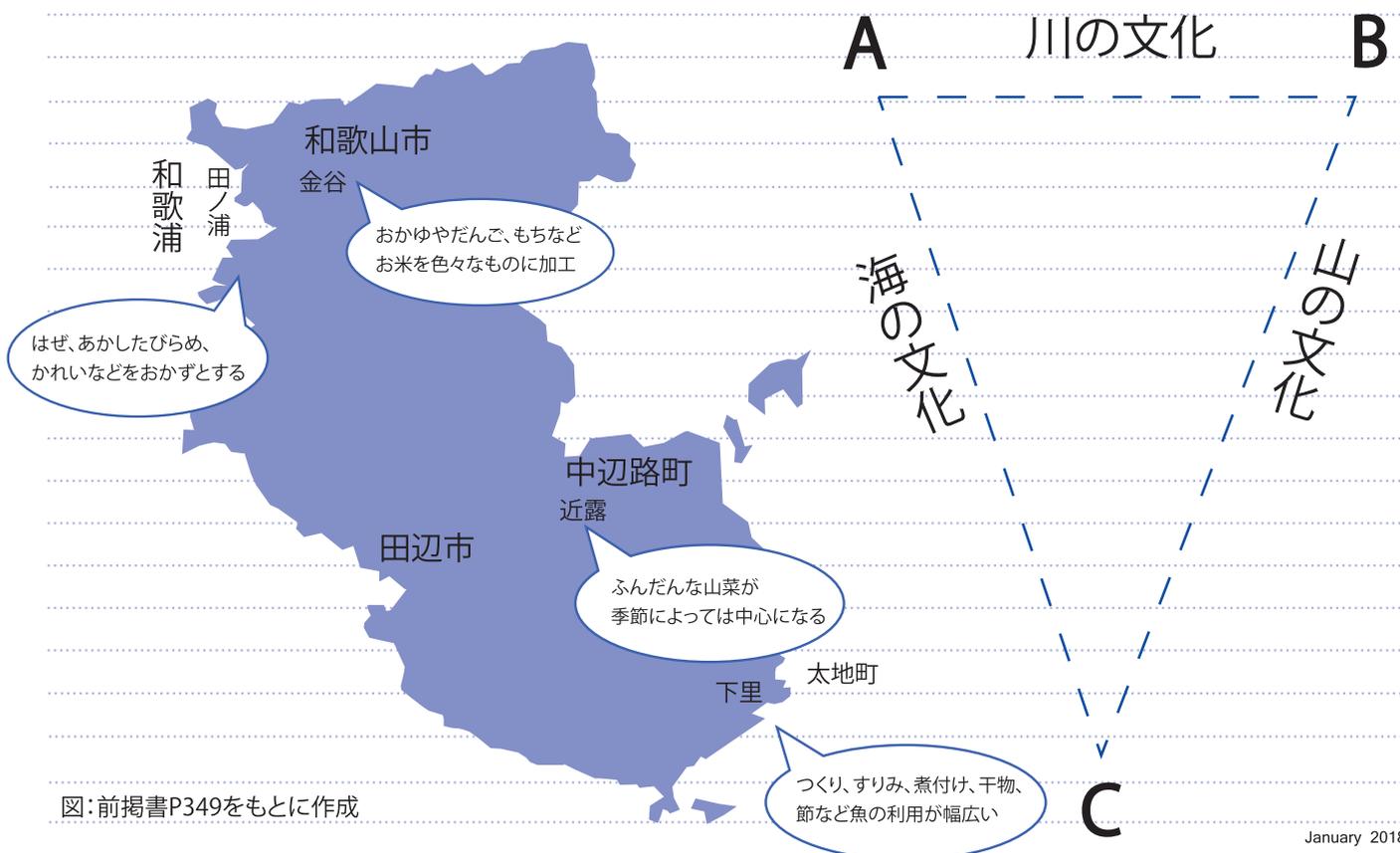
明けましておめでとうございます



## 「干物」という知恵②

1989年に発刊された「聞き書き和歌山の食事」(農文協)という本では、和歌山県における大正の終わりから昭和のはじめごろに及ぶ食生活を、ヒアリングや文献などで調査し、まとめあげています。それによると、和歌山県の文化は、簡略化すると「逆三角形」といえるそうです。下の図に示したように、ABをつなぐ紀ノ川流域に見られる「川の文化」、BCをつなぐ高野山や熊野三山などの「山の文化」、ACをつなぐ太平洋沿岸地域の「海の文化」としてとらえられる、という意味です。

本をひもといていくと、例えば紀ノ川流域では豊かな土地で作られる米を利用した料理が多彩で、もちも多種類に及びます。また、熊野山間では、茶がゆが基本食ですが、畑でとれるいもや豆、また山菜類やきのこを利用していました。しかし、こういった地域でも魚は流通しており、塩蔵品や干物などの加工品が多かったようです。「・・・魚は毎日二、三人の魚屋が、かごで担いで売りに来る。田辺からも来るが、栗栖川の魚のあきんどが仲買して運ぶ。持ってくる魚は、いわし、さえら(さんま)、さば、あじの塩ものや干物にじゃこ(煮干し)である。村の雑貨屋でも、四斗樽に詰めた塩蔵さえらやいわしを売っている。よく食べるのはいわしかさえらだが、三日に一度食べるくらいである・・・」(中辺路町近露/同書・p.140-141) 昔の山間部では、生鮮魚よりも、干物や塩蔵品によりタンパク質をおぎなっていたようです。交通網や流通が発達した現在、大正期のように地域ごとに特徴だった食文化は薄まりつつあります。しかし、さんまの干物やいわしの丸干しといった加工品は、今でも身近に見ることができます。ちなみに、どの地域でもよく食べられていたのは「茶がゆ」でした。



# 太地町 生き生き情報コーナー

お知らせ

## 自衛官(学生)等募集案内

受検種目	応募資格	受付	試験日	試験会場
自衛官候補生	18歳以上27歳未満の男子	平成30年1月12日まで	平成30年1月13日(土)	自衛隊和歌山地本(和歌山市)
高等工科大学生徒	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	平成30年1月9日まで	1次 平成30年1月20日(土)	田辺市民総合センター
貸費学生	現在、大学3・4年次又は大学院に在学の方 ※条件有、細部はお問い合わせください。	平成30年1月9日まで	平成30年1月27日(土)	全国主要都市 ※54,000円/月、 防衛省から学資金が貸与されます。

【新春説明会のご案内】試験内容、待遇、給与、福利厚生 etc. 就職や転職等をご検討の方は、ご活用ください。

平成30年1月2日(火) 13:00～17:00 自衛隊新宮地域事務所(新宮高校正門前) ※来場自由  
電話: 21-3449

お知らせ

## 救急ホットラインのご案内

救急車を呼ぶほどでもなく、休日や夜間のためどこに診察を受けに行けばよいかわからない。

こんなとき、(公財)和歌山県救急医療情報センターでは24時間体制で、最寄りの医療機関を案内します。

**あなたの家庭とお医者さんをつなぐ救急ホットライン 救急用電話番号 073-426-1199**

※なお、歯科の診療時間外の案内・動物病院の案内は行っておりません

(公財)和歌山県救急医療情報センター URL <http://wakyuse.sakura.ne.jp/>

インターネットでの検索も可能です。わかやま医療情報ネット URL <http://www.wakayama.qq-net.jp/>

お知らせ

## ちびっこ探検学校ヨロン島 参加者募集

公益財団法人国際青少年研修協会(文部科学省所管)では、『第42回ちびっこ探検学校ヨロン島』の参加者を全国より募集しています。この事業は、沖縄に近い南の島『ヨロン島』のサンゴ礁の海と美しい自然の中で、全国から参加する仲間との民宿での共同生活や、様々な野外活動(海水浴、イカダ作り&イカダこぎ、さとうきび刈り&絞り、洞窟探検、野宿体験など)を通して友達作りの楽しさを知り、お互いに協力し助け合い、積極的にチャレンジする精神を養います。また、在日外国人小学生と活動・生活を共にすることで、言語や習慣を越えて友情を深め、国際感覚を身につける第一歩とします。

今度の春休みは、日本全国から参加する沢山の日本人や外国人のお友達と一緒に、思い出に残る楽しい体験をしに暖かな南の島『ヨロン島』に行きませんか?

**期間** 平成30年3月26日(月)～4月1日(日) 6泊7日

**場所** 鹿児島県大島郡与論町

**説明会**(無料/自由参加) 2月10日(土) 15:30～16:30 名古屋国際センター 第2会議

☎052-581-5679

※本会へお問い合わせ頂ければ、説明会に使用します詳しい資料を郵送にてお送りします。

さらに、本会ホームページからも事業内容が分かりやすいようご案内しております。

**定員** 日本人小学生200名 在日外国人小学生100名(小学2年生～6年生:平成30年2月末現在)

**締切り** 平成30年3月5日(月)

**出発地別参加費**(プログラム参加費+旅費の合計) 関西空港から出発する場合 134,000円

**資料請求・お申込み・問合せ** 公益財団法人 国際青少年研修協会

☎03-6417-9721 FAX03-6417-9724

## 放送大学4月入学生募集

放送大学は、テレビ・ラジオ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成30年4月入学生を募集しています。詳しい資料を送付いたしますので、お気軽にお問合せ下さい。

### ○募集学生の種類

－教養学部－

科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)

選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

－大学院－

修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

### ○出願期間

【第1回】平成30年2月28日(水)まで

【第2回】平成30年3月1日(木)～平成30年3月20日(火)

(インターネット出願も受け付けております)

### ○資料請求(無料)・お問合せ先

放送大学和歌山学習センター ☎ 073-431-0360 FAX073-431-0311

## 新宮税務署からのお知らせ(確定申告について)

### ◎ご自宅等のパソコン等で申請書の作成を!

平成29年分の確定申告期が近づいてきました。申告書作成会場は大変混雑します。国税庁ホームページの「確定申告等作成コーナー」なら、税務署に出向く必要なし!自動計算・いつでも作成可能!スマホ・タブレットでも作成可能!

お問合せはお電話で! ・確定申告書等作成コーナーの操作方法等→0570-01-5901

・マイナンバーカードに関するご質問→0120-95-0178

・税務相談等→最寄りの税務署へお電話を!

### ◎新宮税務署で申告書等の作成・相談を希望される方へ

・平成29年分の申告書作成会場の開設期間は、平成30年2月16日(金)から平成30年3月15日(木)までです(閉庁日を除く)。

・相談受付時間は、16時までです。

### ◎医療費控除は領収書が提出不要となりました!

#### 改正のポイント

平成29年分の確定申告から、領収書の提出の代わりに“医療費控除の明細書”の添付が必要となりました。医療費控除の申告は、確定申告書等作成コーナーで!

「医療費控除の明細書」も作成できます。(「医療費控除の明細書」は、国税庁ホームページでダウンロードできます!)

手順① 「確定申告書等作成コーナー」へアクセス → 手順② 申告書を作成 → 手順③ 申告書を提出

# 《保健衛生関係 1 月行事予定》

## 子育て支援関係

月 日	事業名	時 間	場 所
1月10日(水)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム
1月17日(水)	ちびっ子ひろば	9:30～11:00	ふれあいルーム

## 健康相談

月 日	事業名	時 間	場 所
1月10日(水)	成人健康相談(血压測定)	10:30～11:30	公 民 館
		13:00～13:30	平見集会所
		13:45～14:15	老人憩の家
		14:30～15:00	寄水集会所
1月24日(水)	乳幼児健康相談	10:00～11:30	多目的センター
1月29日(月)	成人健康相談(血压測定)	15:00～15:30	森浦集会所

## 健康教育

月 日	事業名	時 間	場 所
1月15日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
1月29日(月)			
1月22日(月)	なかよし体操	13:30～15:00	森浦集会所
1月29日(月)			

## 健診

月 日	事業名	時 間	場 所
1月11日(木)	10か月児健診	9:00～9:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
1月25日(木)	4か月児健診	9:00～9:10(受付)	那智勝浦町福祉健康センター



白馬の奇跡を「美談」で終わらせないように語り継ぎ、災害の記憶を風化させないことが大切だと感じます。

今後起こり得る災害に備え、

白馬からのお便り  
姉妹都市「白馬村」コーナー

## 防災シンポジウム

平成29年11月22日に「神城断層地震から学ぶ」と題した防災シンポジウムが開催され、約200名の方にご来場頂きました。神城断層地震から早いもので3年が経ち、村内には地震の傷跡はほとんど見られなくなりました。

日本は地震・災害大国です。今後起こり得る災害に備え、

住民基本台帳  
(平成29年11月末日現在)  
総人口 3,193人  
男 1,447人  
女 1,746人  
世帯数 1,630世帯  
(前月比: 総人口 2人減  
世帯数 増減なし)

## 第8回太地町くじら浜公園駅伝大会

日 時 平成30年2月4日(日) 10:30  
場 所 くじら浜公園 くじらのしっぽ噴水前より  
スタート